井戸端通信 Web 版配信　　第 89 弾

令和　7 年 8 月 30 日

自遊塾倶楽部広報誌　井戸端通信　Web 版（No.89）　　発行　富山県民生涯学習カレッジ
自遊塾　広報部会

講座紹介	講座名	へるんさん話の宝箱セミナー ～NHK 朝ドラ「ばけばけ」を 10 倍楽しむ～		
	講座 No.	U 2099	県民教授氏名	木下　晶

秋の NHK の朝ドラ「ばけばけ」効果？！　NHK 取材・報道がありました

平成 28(2016)年から開始した「へるんセミナー」も今年は９年目。これまで数名の受講者とひっそり開催しておりました。奇しくも、今年の秋の NHK の朝ドラ「ばけばけ」が、小泉八雲（ラフカディオ・ハーン、へるんさん）の妻セツさんを元にしていることから、今年は 15 名の方に受講していただきました。

WEB ページで、動画と記事が閲覧できます。
https://www3.nhk.or.jp/lnews/toyama/20250823/3060020941.html
画像は、パソコンからのもの

ヘルン文庫の疎開先訪問がきっかけ

NHK 記者の H さんにこのセミナーを知っていただいたのは、昨年、戦時中にヘルン文庫が疎開していた黒部のお宅に、ご一緒し、セミナーについての関心を持っていただいたのがきっかけです。

セミナーのお品書きは、以下の通り

セミナーのめあては、ゲストとともに、小泉八雲の作品や、小泉セツの生涯などを学ぶことや、NHK 朝ドラ秋の「ばけばけ」を楽しむことに努めました。

第１回は、ハーンの多彩な魅力にふれるをテーマにしました。／　第２回は、『怪談』から「ばけばけ」へ　をテーマに、初めて、澤田隆彰県民教授の「ふるさとの文学めぐり」と合同セミナーを行いました。／　第３回は、ハーンとヘルン文庫の魅力をテーマに次回の予習を行いました。／　第４回は、富山大学中央図書館ヘルン文庫の見学を行い、これも「ふるさとの文学めぐり」といっしょに行いました。詳しくは、井戸端通信　Web 版（No.９０）をご覧ください。図書館が改築工事にかかるための休館日に当たり、不行き届きがあり、次回への課題が分かりました。／　第５回、最終回は、お気に入りの作品・「ばけばけ」大予想をテーマにしました。

この最終回に、NHK 富山放送局の取材があり、<連続テレビ小説「ばけばけ」放送前に小泉八雲の作品学ぶ 富山>　との題で、８月 23 日夕方のニュースで富山放送局の放映、翌日の北陸地域のニュースとして、２回取り上げていただきました。

キャプションは、「明治時代の作家小泉八雲の妻、セツをモデルにしたＮＨＫの連続テレビ小説が来月から放送されるのを前に、小泉八雲の作品について学び、ドラマをより深く楽しもうというセミナーが、富山市で開かれました。」

県民カレッジ自遊塾や富山八雲会への関心も高めたい

これをきっかけに、自遊塾や、へるん文庫、富山八雲会への関心が高まればいいと思っています。